

プロフィールシート



美容外科のこだわり芸術家
三万件を超える美容外科の施術執刀医

銀座みゆき通り美容外科 総院長
医療法人社団美幸会 理事長
医学博士
水谷 和則 (みずたに かずのり)

- ベイザーリポ (※) 認定医
- 日本美容外科学会専門医 (2007年会長に就任)
- 日本美容外科医師会常任理事

(略歴1)

- 1991年 福島県立医科大学医学部卒業 東北大学医学部附属病院勤務
- 1993年 福島県立医科大学医学部附属病院勤務
- 1996年 中央クリニック (美容外科・形成外科) 勤務
- 1999年 大宮中央クリニック (美容外科・形成外科) 院長に就任
- 2002年 品川中央クリニック (美容外科・形成外科) 院長に就任
- 2006年 銀座みゆき通り美容外科を開業

(略歴2)

- 1998年 体外式超音波脂肪吸引専門医に認定
- 1999年 日本美容外科医師会会長賞を受賞
- 2000年 日本美容外科学会より美容外科専門医に認定
- 2007年 日本美容外科学会会长に就任
- 2010年 日本美容外科医師会常任理事に就任
- 2013年 ベイザーリポ認定医に認定

日本美容外科学会、国際美容外科学会、海外での発表、招待講演など多数。
医学博士／日本美容外科学会専門医／日本形成外科学会会員／国際美容外科学会会員

※ベイザーリポ(VASER LIPO)は、ベイザー脂肪吸引とも呼ばれています。ベイザーリポではカニューレ(脂肪を吸引する医療用の管)の先端から、ベイザー波と呼ばれる特殊な振動エネルギー(36KHz の超音波)を発生して脂肪に当て、脂肪細胞を乳化させることで、硬い脂肪も軟らかくしてから脂肪を吸引する方法。アメリカのFDA(日本の厚生労働省のような機関)の認可も受けています。「第三世代超音波脂肪吸引」と呼ばれることもあります。

=問い合わせ先=

銀座みゆき通り美容外科 広報・PR事務局 担当:一森 (いちもり)
電話:050-3593-0595 FAX:020-4662-4452 Mail:pr@dr-kazunori-mizutani

プロフィールシート

《経歴》

ドクター水谷は、幼少時代から手先が器用で、細かい作業に关心を抱き、父親が持ち帰った部材の設計図を模写していくうちに、小学校高学年になると大人顔負けの設計図が描けるほどのレベルに成長する。

中高大学と、美術部や合唱団などに所属。趣味の絵画については、個展を開いたこともある。合唱団では、ヨーロッパのバチカン市国にてローマ法王（ヨハネパウロ2世）の前で謁見演奏する機会もあった。

出身地は、福島県。地元の県立医科大学を卒業し、大学付属病院に勤務。当時は、整形外科に入るものの自身のやっていきたいことを実現するために医局を辞め、診療科（産婦人科）へ進む。当時、注目を浴びていた不妊治療の中で、自分が得意とする細かい作業の「顕微授精」に惹かれ、産婦人科にて勤務を続ける。しかし昔からこだわりのある性格が、産婦人科では発揮できないと感じ、患者さんの為にも徹底的に綺麗にしたいという強い想いを秘め、美容外科の世界へ飛び込む。



《実績》



ドクター水谷は、医学博士号を持ちどんな医療にも精通しているが、美容外科の世界に飛び込んで約18年。人間の第一印象が決まるとも言える「顔」の施術を得意としている。約3万件を超える施術とこだわりを持つ性格は、自身の経験と技術力、ノウハウ向上に繋がっている。特に造形物へのこだわりは強く、例えば

鼻に埋め込むシリコンなどの造形物は、基本の型をそのまま患者さんに入れるのではなく、ひとつひとつ手作業で造り上げて患者さんへ提供する。世界でたった一つの患者さんに合ったものを提供することが自身のこだわりである。

更に、当院での実績No.1が「目の下のくま・たるみ」を取る施術。約4,000件以上の症例数は、日本国内ではトップを争うほどの実績と実力を持っている。

=問い合わせ先=

銀座みゆき通り美容外科 広報・PR事務局 担当：一森（いちもり）

電話：050-3593-0595 FAX：020-4662-4452 Mail：pr@dr-kazunori-mizutani

プロフィールシート

《施術「ドクター水谷流 皮膚を切らない目の下のくま・たるみ治療法」》

○目の下のくま・たるみは、疲労や寝不足が原因ではないと知っていましたか？

疲れや寝不足によって目の下にくまができるという俗説があります。しかし医学的には全く根拠がありません。もし疲労や寝不足が原因であれば、熟睡し休養すれば治りそうなものですが、実際はそうではないために目の下のくま・たるみで悩む方が後を絶ちません。

目の下のくま・たるみの主な原因は、親から受け継いだ遺伝です。生まれつきの骨格、脂肪の付き方、皮膚の性質などが原因です。生まれつき出来やすい人に出来ている、ということです。それに加えて、加齢や皮膚老化を促進する紫外線、誤ったセルフケアが症状を悪化させる原因となります。

目の下のくま・たるみが自然に治ることは残念ながらありません。セルフケアでの改善も、現実的には大変難しいことです。お化粧でカバーしたい気持ち、マッサージで治したい気持ちはよく理解できますが、そうしたことが皮膚への刺激となって、症状が悪化してしまうケースも珍しくありません。

目の下のくま・たるみを治すのは、いわゆる美容整形ではありません。長年の悩みを解消し、生活の質を向上させるための、医学的根拠に基づいた治療です。

目の下のくま・たるみ症状は3タイプに分かれます。

2タイプあるいは3タイプが混在した、複合タイプも珍しくありません。



目の下が膨れてたるみ、その下に影ができる



皮膚が赤み（赤紫色）を帯びている



皮膚が茶色に色素沈着している

○切らずに効果が永続する水谷流独自技術。症状に応じた4段階治療。

一昔前は、目の下のくまが治せるなんて思いもよらないことでした。

今は皮膚を切らずに、しかも永続的に目の下のくま、たるみの悩みを解消することができますが、それが専門ではないクリニックでは、いまだに目の下のたるみは皮膚を切って治すしかない、目の下のくまは治せない、と説明される場合も珍しくありません。

=問い合わせ先=

銀座みゆき通り美容外科 広報・PR事務局 担当：一森（いちもり）

電話：050-3593-0595 FAX：020-4662-4452 Mail：pr@dr-kazunori-mizutani

プロフィールシート

一方、目の下のくま治療に力を入れているクリニックでは、ヒアルロン酸や PRP（濃縮血小板）、PRP にグロースファクター（成長因子、GF）を添加したもの、培養した線維芽細胞などを注入して、目の下のくまやたる治療が行われている場合もあります。

しかしこれらの方法ではあまり改善しないか、逆に不自然な仕上がりになる場合もあり、修正を希望して当院に来院する患者様が少なくありません。

また症状が改善したとしても一時的で戻ってしまうため、何度も治療を繰り返すことが前提となります。また最近は皮膚を切らずに、まぶたの裏側から目の下の脂肪を除去（脱脂）する方法で、目の下のくま・たるみを治療するクリニックも増えてきました。症状によってはこの方法でも改善しますが全例ではなく、逆にくぼみやシワが増えるだけで症状が悪化してしまう場合もあります。



高純度脂肪注入で美しく完治

水谷流では症状の程度に応じた 4 段階の治療法から最適の方法を選択します。

- ・ 経結膜脱脂法
- ・ 脱脂リポ法
- ・ 脱脂ダブルリポ法（W-PRP 脂肪注入法）
- ・ 脱脂コンデンスリポ法（マイクロ CRF 注入法）

目の下の脱脂だけで改善できない場合には、くぼみに自分の脂肪を高純度で注入する独自技術を併用して治すので、症状の程度によらず、ハリのある美しい目元に治すことができるのです。

《趣味》

- ・ ドライブ：イタリアの MASERATI（オープンカー）が愛車。
- ・ スキューバーダイビング：国内・国外問わず、時間が取れる時には潜る。
- ・ 愛犬：トイプードルのマロンくん、モモちゃんを溺愛。
- ・ 絵画



作品 1：裸婦



作品 2：富士山

=問い合わせ先=

銀座みゆき通り美容外科 広報・PR 事務局 担当：一森（いちもり）

電話：050-3593-0595 FAX：020-4662-4452 Mail：pr@dr-kazunori-mizutani